

議会だより

定例会

令和2年第1回定例会は3月10日に招集され、提出された案件を審議し13日に閉会いたしました。

委員会報告

総務産業常任委員会

- 調査期日 12月13日(金)
- 調査事項 ひまわり油の今後と現状について
- 調査結果 一貫した方向性の中で次年度以降も継続できるように努められたい。

調査期日 1月16日(木)

- 調査事項 町道及び公共施設等の除排雪等状況について
- 調査結果 指摘事項なし

まちづくり等調査特別委員会

- 令和元年度に行った調査結果についての中間報告

報告

○議会の委任による専決処分
の報告について(空知教育センター組合議員の選挙について)

同意

- 北竜町表彰条例に基づく表彰について(山本剛嗣氏)
- 北竜町表彰条例に基づく表彰について(佐光勉氏)
- 北竜町表彰条例に基づく表彰について(藤谷隆紀氏)
- 北竜町表彰条例に基づく表彰について(近江博信氏)
- 北竜町表彰条例に基づく表彰について(本多一志氏)

原案可決

- 町有財産の譲渡について
- 北竜町新規就農者誘致特別措置条例の一部改正について
- 令和元年度北竜町一般会計補正予算(第5号)について
既定予算から74,408千円を減額し、予算総額を4,148,141千円とする補正予算
- 令和元年度北竜町国民健康

保険特別会計補正予算(第2号)について

- ・既定予算から6,765千円を減額し、予算総額を302,286千円とする補正予算
- 令和元年度北竜町立診療所事業特別会計補正予算(第3号)について

・既定予算から283千円を減額し、予算総額を113,884千円とする補正予算

○北竜町介護保険特別会計補正予算(第4号)について

- ・既定予算から34,645千円を減額し、予算総額を283,226千円とする補正予算
- 令和元年度北竜町特別養護老人ホーム事業特別会計補正予算(第3号)について

・既定予算から1,786千円を減額し、予算総額を112,418千円とする補正予算

○令和元年度北竜町農業集落排水事業及び個別排水処理事業特別会計補正予算(第4号)について

- ・既定予算から2,495千円を減額し、予算総額を112,418千円とする補正予算

○令和元年度北竜町簡易水道事業会計補正予算(第5号)について

- ・既定予算から3,952千円を減額し、予算総額を177,251千円とする補正予算

委員会報告

予算審査特別委員会

- 調査期日 3月12日(木)
- 13日(金)

- 審査事件 令和2年度会計予算(8会計)、北竜町まち・ひと・しごと創生総合戦略(令和2年度)と令和6年度)外
- 審査結果 口頭による意見4件を付与し、原案通り可決すべきものと決定する。

原案可決

- 北竜町まち・ひと・しごと創生総合戦略(令和2年度)と令和6年度)
- 北竜町内の地域自治制に関する条例の一部改正について
- 町長、副町長、教育長の給与に関する条例の一部改正について
- 職員の給与に関する条例の

一部改正について

○非常勤職員の報酬及び費用弁償支給に関する条例の一部改正について

○北竜町生活支援・生きがい対策事業条例の一部改正について

○北竜町立やわら保育園設置条例の制定について

○北竜町農村公園の設置及び管理に関する条例の一部改正について

○北竜町定住促進奨励金等の交付に関する条例の一部改正について

○北竜町商工業元気支援応援条例の一部改正について

○公の施設の指定管理者の指定について（北竜町碧水地域 支え合いセンター）

○公の施設に係る指定管理者の指定について（北竜町玄米ばら調製集出荷施設）

○公の施設に係る指定管理者の指定について（北竜町観光施設）

○公の施設に係る指定管理者の指定について（北竜町社会体育施設）

○令和2年度北竜町一般会計

予算について

・予算総額3,415,000千円とする。

○令和2年度北竜町国民健康保険特別会計予算について

・予算総額325,900千円とする。

○令和2年度北竜町立診療所事業特別会計予算について

・予算総額101,300千円とする。

○令和2年度北竜町後期高齢者医療特別会計予算について

・予算総額38,200千円とする。

○令和2年度北竜町介護保険特別会計予算について

・予算総額322,500千円とする。

○令和2年度北竜町特別養護老人ホーム事業特別会計予算について

・予算総額466,100千円とする。

○令和2年度北竜町農業集落排水事業及び個別排水処理事業特別会計予算について

・予算総額106,200千円とする。

○令和2年度北竜町簡易水道

会計予算について

・予算総額199,769千円とする。

追加議案

○令和元年度北竜町一般会計補正予算（第6号）について

・既定予算に3,270千円を追加し、予算総額を4,151,411千円とする補正予算。

決議

次の決議を可決いたしました。
○「民族共生の未来を切り開く」決議

意見書提出

次の意見書を可決し、関係省庁に送付いたしました。
○「子どもの医療費無料化制度の拡充」を求める意見書

一般質問

3月10日に開会された第1回定例会では、3名の議員から3件の一般質問がありました。



藤井議員

人口問題の対応と取り巻く諸問題について

藤井議員

平成27年度の地方創生協議会において策定した北竜町人口ビジョンでは、平成32年には1,955人、平成72年には1,044人の人口予想であったが、今年1月現在は1,800人を下回り約160人の差が出ている。人口減少については未来の北竜町そして全産業の死活にもかかわる問題であるので、この2年間の取り組みやその効果を伺いたい。

また、バスはの減便については、運転手確保が困難であることや乗客数の減少が要因となっている。令和5年には北竜から滝川間のバスの廃止が検討されており、今年度策定する「北竜町地域公共交通計

佐野町長

大きなハンデになると考えるが、理事者の考えを伺いたい。
人口減少問題は最重要施策として取り組んでおり、移住定住・子育て支援・中古住宅提供等に一定の成果があったと考えるが減少に歯止めがかからない現状であるため、国による抜本的な課題解決を求めていきたい。

また、北竜から滝川間のバスの減便があり、今後も交通機関の弱体化・人口減少による公共料金の高騰などが予想され、定住促進を進めるうえで

画」の中で町民の公共交通や生活路線バスの今後のあり方について検討していきたい。最後に、上下水道・浄化槽使料の値上げについては現時点で予定していないが、今後、長期的な施設維持計画の中で検討していきたい。

藤井議員

一般企業では目標設定をし、それに向けて進んでいくことが重要であると考えているが、町としてどのような目標を掲げて取り組み、検討を行ってきたのか伺いたい。

佐野町長

令和2年度からの総合戦略で設定している目標に向け、人口減少問題に取り組んでいきたい。人口減少の要因としては町内に労働先がないことが大きな要因であると考えており、現状を減らさないよう農業担い手対策に力を入れ、果菜類を中心とした新規就農や法人の構成員としての雇用に取り組んでいるのでご理解を頂きたい。

藤井議員

広域での医療や交通に対す

る検討も必要ではあるが、町として他に負けないような対策も必要だと考える。

また、アンケート調査も行ってはいるが、町民の意見を広く聴取する場を設け、住みやすい町となるよう取り組みで頂きたい。

佐野町長

雪の多さや交通手段の確保が原因で近年は転出者が増えていると考えているので、今任期では冬の厳しさを強いられない生活が出来るような施策を検討していきたい。

また、これからは農業やひまわりを通して関係人口の交流を増やし、町の発展を進めていきたいのでご理解を頂きたい。



松永議員

令和2年度の重要政策の対応について

松永議員

町長選出馬時に公約として表明されていた重要課題、ひまわりの観光振興と公共交通体制の強化の2点について、どのように対応していくのか理事者の方針を伺いたい。

佐野町長

ひまわりの観光振興については、例年通りの維持管理、運営に対する経費を予算計上している。また、現在策定中の「ひまわりの里基本計画」については、策定委員会がコロナウイルスの影響により延期となっているが、4月以降、策定委員会から最終報告を受け次第、内部で精査を行い、取り組み内容を議員も含め町民へ丁寧に説明し、理解を得た上で進めていきたい。その中で、現在まで入場料や駐車料金は無料だが、今後、財政

的に運営が厳しくなれば徴収も検討していく。年間を通じて里に人を呼ぶ為には、新展望台は必要だと個人的に考えている。

地域公共交通については、現状、乗合タクシー、スクーターバスの利便性が悪いとの指摘があり、担当に検討させている。また、中央バスから高速バスや路線バスの減便・廃止を示されており、関係する近隣の町とも連携し対応を検討したい。加えて、全世帯を対象としたアンケート調査の結果も踏まえ、本町に適した交通体系の構築に努めたい。

松永議員

町民に理解を求めると言っていますが、町長の考えを押し付けようとしているように感じる。

ひまわりによって地場産品

が恩恵を受けているのは事実であるが、そのことだけに予算を掛け過ぎず、町内の環境整備等の充実を図った方が町民にとって良いのではないかと。また、高齢者の足の確保については、現状を踏まえ、利便性の高いものにして頂きたい。

佐野町長

策定委員会から建設費などの経費はまだ示されていないが、財政面での内容を精査すると共に、都度、町民からの意見も聴取し、反映させたいと考えている。基本は、より多くの観光客に来てもらい、町の活性化に繋げる事だと考えている。





中村議員

新型コロナウイルス感染症 による影響と対策について

中村議員

昨年末から新型コロナウイルスによる多くの感染者が発生している。2月28日北海道知事による「緊急事態宣言」が出され、小・中学校の休校、不要不急の外出自粛など蔓延を食い止めるべく、取組みが行なわれている。本町においても、各種会合・会議の延期や中止がされている。特に高齢者の行事の中止等により、精神的・体力的な不安感が高まると考えるが対応について伺いたい。

また、各団体等の会合の中止により、北竜温泉を初めとする町内飲食業者の影響も懸念される。国からの具体策が出されているが、本町において具体的な対策を講じるか伺いたい。

佐野町長

新型コロナウイルス感染症は令和2年2月1日に指定感染症となりました。感染経路の特徴としては、小規模な患者の集団（クラスター）が次の集団を生み出すことがあり、この防止が重要であると言われている。このため、感染症拡大の防止から3月31日までの運動教室の中止を決定し、防災行政無線、ホームページ、町内会配布チラシにより必要な情報の提供を行った。

また、高齢者施設、各種サービスを実施する関係機関担当者とも連携を密にして感染予防対策の徹底を周知するとともに、介護を必要とする方への支援については引き続き対応を行っていく。今後の状況を見極め、長期化する場合には高齢者の方の身体機能低下

を予防するため自宅で取り組めることなどをチラシ・民生委員とも連携し、電話相談も含め安心して暮らしていただけるよう支援していきたい。

外出自粛や会議・会合の中止による影響は、「緊急事態宣言」以降北竜温泉でもキャンセルが相次いでおり、一般商店では来客数の大幅減少、特に料飲店では3月の予約はほとんどキャンセルされている。今後、色々な分野で影響が出てくるものと思うが、国や道の支援策を見極め、北竜町としての経済支援対策を講じなければならぬと考えている。

中村議員

すでに対策を講じていると思うが、休校による子ども達への更なるケアを願いたい。また、高齢者で特に一人暮らしの方で外部とうまく連絡を取ることの出来ない方へも具体的な対応を願いたい。

新型コロナウイルスに関しては、連日、テレビ、新聞などで手洗いの励行などの予防策について報じられている

が、感染者数の増加などの情報ほとんどで、不安や恐れ、絶望感を煽る雰囲気があると感じる。

気分が滅入ってしまうと免疫力が低下し、様々な感染症に感染しやすくなるため、気分を明るくし、免疫力を高めることが大切である。

マスクが不足して1ヶ月以上が経ち、まだまだ店頭には並んでいない状況にあり、徐々に備蓄も必要であると感じた。町においても、多少の備蓄はあるようだが、本当に困っている人に配布できる準備が必要と考える。

今後は、国や道の動向・指針もあるが、様々な対策が必要であり、心身共に健康を維持できるように進めて頂きたい。また、ウイルスに効果があるという様々な詐欺商法もあるので併せて注意を促して頂きたい。

料飲店への一番の対策は利用することであり、終息宣言がいつ出されるのかはわかりませんが、町民のためになる施策を願いたい。

佐野町長

2月25日に対策本部を設置した。その後、道の対策会議に出席した際に知事から対策が提示された。今できることを何でもしたいという決意の下、全道各地の首長も理解を示し賛同している。今回の新型コロナウイルスは地震、大停電を上回る緊急事態であり、行政一体となって「試される大地北海道」で、北海道から終息が進むことを願っている。浦臼町では、過去に備蓄したマスクを町民一人当たり十枚ずつ配布しており、本町においてもマスク・消毒液などの対応ができるよう準備していきたい。

商店・料飲店については、商工会長からも支援要請を受けており、早急に高度の経済対策を講じていきたい。

有馬教育長

子どもたちのケアについては、小・中学校とも終業式までに3回ずつ分散登校を予定している。先生から直接通知表の配布、健康チェックや宿題の確認が目的である。



■ 議員の賛否の公表 (北竜町議会では予算議会における議員の賛否を公表することとしています)

令和2年第1回定例会 (会期：3月10日～13日)

○：賛成 △：意見を付与して賛成 □：修正を求め賛成 ×：反対 -：議長の為賛否無し

▽議 案 件 名	中村	尾崎	北島	小松	小坂	松永	藤井	佐々木
専決処分の承認を求めることについて 〔空知教育センター組合議員の選挙について〕	○	○	○	○	○	○	○	-
北竜町表彰条例に基づく表彰について (5名)	○	○	○	○	○	○	○	-
町有財産の譲渡について	○	○	○	○	○	○	○	-
北竜町新規就農者誘致特別措置条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	-
令和元年度北竜町一般会計補正予算 (第5号) について	○	○	○	○	○	○	○	-
令和元年度北竜町国民健康保険特別会計補正予算 (第2号) について	○	○	○	○	○	○	○	-
令和元年度北竜町立診療所事業特別会計補正予算 (第3号) について	○	○	○	○	○	○	○	-
令和元年度北竜町介護保険特別会計補正予算 (第4号) について	○	○	○	○	○	○	○	-
令和元年度北竜町特別養護老人ホーム事業特別会計補正予算 (第3号) について	○	○	○	○	○	○	○	-
令和元年度北竜町農業集落排水事業及び 個別排水処理事業特別会計補正予算 (第4号) について	○	○	○	○	○	○	○	-
令和元年度北竜町簡易水道事業会計補正予算 (第5号) について	○	○	○	○	○	○	○	-
令和元年度北竜町一般会計補正予算 (第6号) について	○	○	○	○	○	○	○	-
本会議における質疑の件数	質疑 0件	質疑 0件	質疑 0件	質疑 0件	質疑 1件	質疑 0件	質疑 0件	-

予算審査特別委員会 (3月12日～13日)

○：賛成 △：意見を付与して賛成 □：修正を求め賛成 ×：反対 -：委員長・監査委員の為賛否無し

▽委 員 会 付 託 案 件	中村	尾崎	北島	小松	小坂	松永	藤井	佐々木
北竜町まち・ひと・しごと創生総合戦略 (令和2年度～令和6年度) について	○	○	○	○	○	○	-	○
北竜町内の地域自治制に関する条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	-	○
町長、副町長、教育長の給与に関する条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	-	○
職員の給与に関する条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	-	○
非常勤職員の報酬及び費用弁償支給に関する条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	-	○
北竜町生活支援・生きがい対策事業条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	-	○
北竜町立やわら保育園設置条例の制定について	○	○	○	○	○	○	-	○
北竜町農村公園の設置及び管理に関する条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	-	○
北竜町商工業元気支援応援条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	-	○
公の施設に係る指定管理者の指定について (北竜町碧水地域支え合いセンター)	○	○	○	○	○	○	-	○
公の施設に係る指定管理者の指定について (北竜町玄米ばら調製集出荷施設)	○	○	○	○	○	○	-	○
公の施設に係る指定管理者の指定について (北竜町観光施設)	○	○	○	○	○	○	-	○
公の施設に係る指定管理者の指定について (北竜町社会体育施設)	○	○	○	○	○	○	-	○
令和2年度北竜町一般会計予算について	○	○	○	○	○	○	-	○
令和2年度北竜町国民健康保険特別会計予算について	○	○	○	○	○	○	-	○

次ページに続く

令和2年度北竜町立診療所事業特別会計予算について	○	○	○	○	○	○	-	○
令和2年度北竜町後期高齢者医療特別会計予算について	○	○	○	○	○	○	-	○
令和2年度北竜町介護保険特別会計予算について	○	○	○	○	○	○	-	○
令和2年度北竜町特別養護老人ホーム事業特別会計予算について	○	○	○	○	○	○	-	○
令和2年度北竜町農業集落排水事業及び個別排水処理事業特別会計予算について	○	○	○	○	○	○	-	○
令和2年度北竜町簡易水道事業会計予算について	○	○	○	○	○	○	-	○
決算委員会における質疑の件数	質疑 4件	質疑 2件	質疑 13件	質疑 5件	質疑 5件	質疑 4件	-	質疑 4件

予算審査特別委員会における議員質疑（意見附与・修正を求めた質疑）

質疑内容	答弁内容
『新規就農希望者のサポート体制の充実について』 新規就農希望者の考えと行政の考えにギャップがあると感じる。新規就農希望者の考えをより一層理解し、指導、助言をするようなサポート体制の充実について検討頂きたい。	北竜町にあった形でサポート出来るよう話し合いながら、行政と新規就農者のギャップを解消していきたい。
『災害対策用物資備蓄の充実について』 災害対策用物資を購入されるが、現状では町内避難所へ配置されていないので、配置されるようにして頂きたい。	今後、町内会等と数量などの相談をしながら配置していく。また、備蓄場所の問題もあるので、企業と協定を結び、有事の際にはすぐに物資の提供を受けられるような体制を作っていく。
『予防接種事業について』 任意での接種ではあるが、町内の接種率が29.8%となっている。より一層PRを行い、町民の健康管理に努めて頂きたい。	しっかりとPRを行った上で、町民の健康管理により一層努めていきたい。

議会報告会において参加された方からの意見の質疑

2月20日に開催された議会報告会において18名の町民が参加され、その際に頂いた意見を質疑いたしました。

質疑内容	答弁内容
やわら保育園完成後に生じる不具合の改善について	3/16に手直しを行う予定。木のぬくもりを感じてもらおう作りとなっているためサンドペーパーでささくれの解消を出来るようにしていく。また、ふしについてはパテを塗って対応していく。
ひまわりの里基本計画について	最終会議を開催できていない状況であるが、喫緊に会議を開催した後、町民や議会への説明を行いながら進めていきたい。



新型コロナウイルス蔓延が止まない、まさにパンデミック（世界的大流行）だ。人々は感染症に苦しみ、生活、経済活動にも大きな影を落としている。国、地方自治体は対応策に躍起となっている。ただ、報道では感染者数の動向と経済対策が主で、根本の治療薬・ワクチンの開発などの進展が伝わってこないのが残念だ。

今後の動向は予想がつかないが、暫くは続くような気がする。自ら感染予防、生活防衛をしっかりとやっていかなくてはならないだろう。感染症の一つ、風邪、はしか、インフルエンザのように。

（小坂一行）